

幌別西地区における津波警報時の避難行動について



令和7年度幌別西地区懇談会
令和7年10月20日(月)
登別市総務部

《放送内容》

- ・津波警報が発表されました。
- ・海岸付近の方は高台に避難してください。

※避難指示区域発令無

7月30日 避難対象外区域

JR線路より海側に避難指示発令(テレビ等)



片倉
【390世帯】

新川第2
【410世帯】

香風町会 【146世帯】

新川
【140世帯】

新和会
【610世帯】

プレハブ
【142世帯】

山手
【50世帯】

曙
【131世帯】

幌別第一
【60世帯】

幌別第二
【37世帯】

幌別第三
【43世帯】

幌別第五【40世帯】

幌別第六
【30世帯】

幌別第七
【182世帯】

川上公園

郷土資料館

業用水池

望洋団地付近

来馬墓地付近

柏木町5丁目高層道路下トンネル付近

海拔18m

海拔26m

海拔16m

海拔28m

海拔13m

豊別中学校ショッピングセンター アーニス 3-4階駐車場

市役所本庁舎建設予定地(旧陸上競技場)

豊別記念病院 4階リハビリ室

豊別中学校

幌別中学校

幌別中学校グラウンド

市役所本庁舎建設予定地(旧陸上競技場)

豊別市消防本部・豊別市消防署

豊別市役所

豊別市消防本部・豊別市消防署

豊別市役所

市役所本庁舎建設予定地(旧陸上競技場)

豊別記念病院 4階リハビリ室

豊別中学校

豊別中学校

豊別中学校

豊別中学校

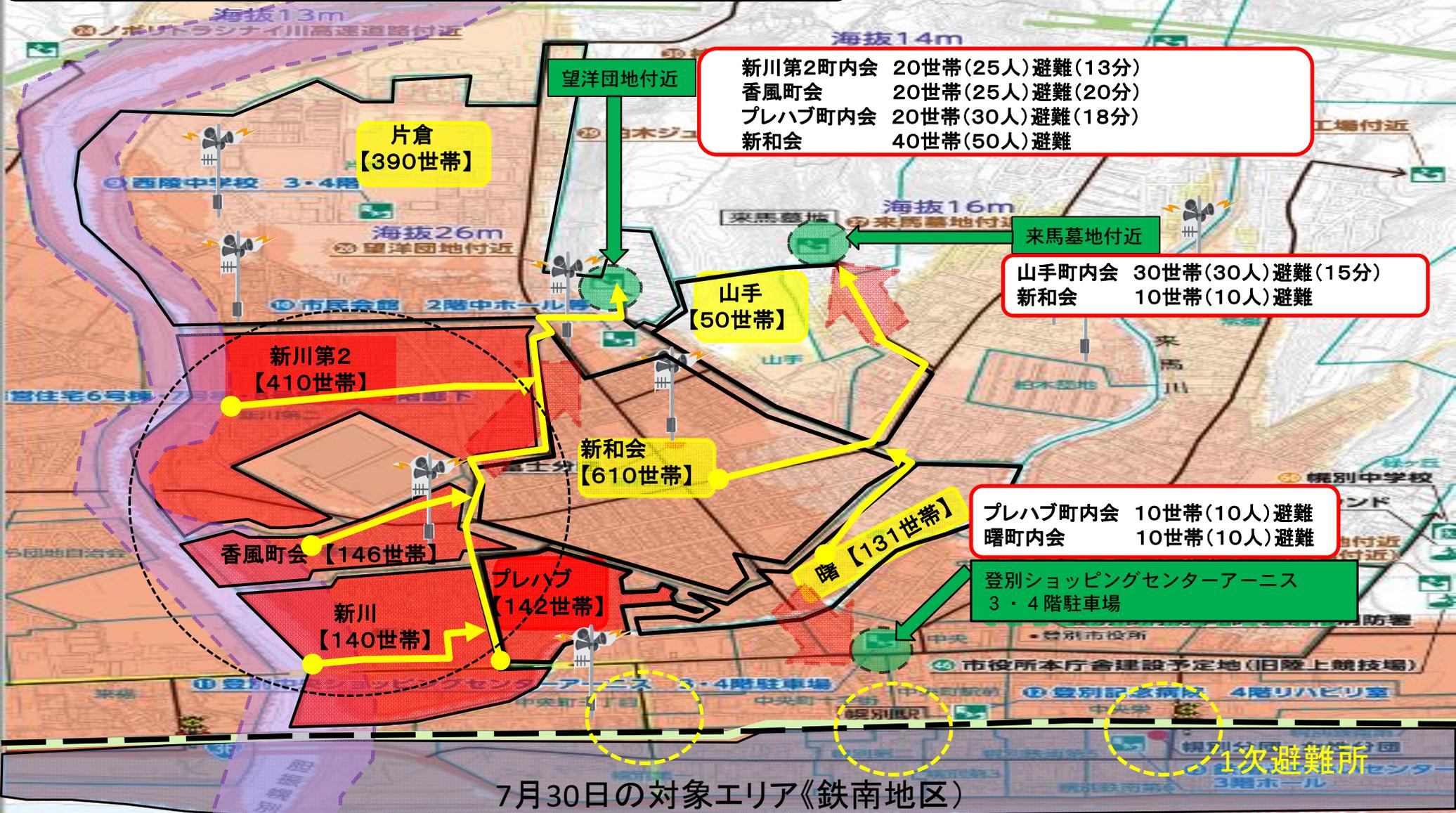
豊別中学校

豊別中学校

豊別中学校

避難意識の強い市民への誘導情報提供について※今後町内会との協議事項

9:41 津波警報に係る避難指示を発令
この時間から新川地区赤エリアでも避難される市民がおりました



※本資料における避難者数等は資料作成にあたり町内会等に関取りした内容によるものです。

7月30日の津波警報における登別市の情報伝達について

7月30日

※全地域に放送

9:41と10:32の2回実施

- ① サイレン
- ② 津波警報が発表されました。
- ③ 海岸付近の方は高台に避難してください。

※①～③を3回繰り返す

- ・こちらは登別市です。
- ・下りチャイム

防災行政無線

避難指示地域の周知

放送の伝え方

自動配信メール

津波警報が発表されたため、避難指示を発令しました。
浸水のおそれがある区域にお住まいの方は、直ちに海岸や河川から離れ、高台や津波避難ビル等の高い場所に避難してください。

地域を記載

津波警報が発表されたため、**鶯別町、栄町、大和町、幌別町、幸町、富浦町1～4丁目、登別港町**に避難指示を発令しました。
直ちに海岸や河川から離れ、高台避難場所や津波避難ビルなど、できるだけ高い場所に緊急に避難してください。

今後

※初回、引き続き全地域に放送
※警報解除まで定期的に放送

- ① サイレン
 - ② こちらは登別市です。
 - ③ 津波警報が発表されました。
鶯別町、栄町、大和町、幌別町、幸町、富浦町1～4丁目、登別港町に避難指示を発令しました。
 - ④ 直ちに海岸や河川から離れ、高台避難場所や津波避難ビルなど、できるだけ高い場所に緊急に避難してください。
- ※①～④を3回繰り返す

避難行動の新しい考え方

項目1

- ・避難の新ルール
- ・津波浸水高による避難の考え方、避難方法

項目2

- ・避難所の考え方
- ・1次避難所から1.5次及び2次避難所への移動タイミングの徹底、福祉避難所、ペット等の考え方

項目3

- ・支え合いのルール(避難する市民と受け皿となる市民の役割)
- ・乳幼児、障がい者児、高齢者等への支援、障がい福祉関係団体との協力

項目4

- ・市役所からの情報提供について
- ・情報のタイミング、提供内容、重大性、確認のやりとり等

項目5

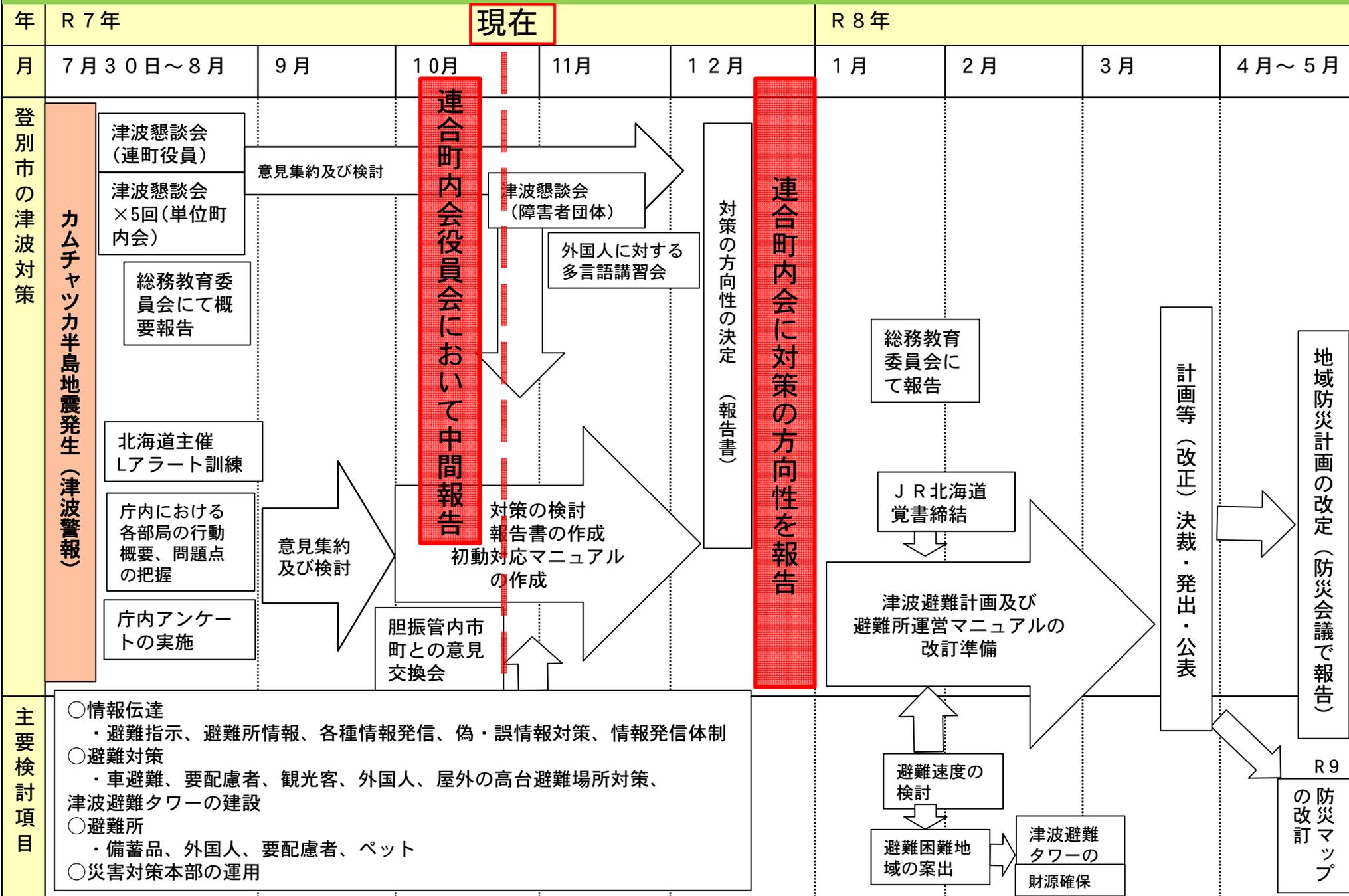
- ・自助・共助の進化
- ・避難所の自治運営、備蓄品の振り分け、備蓄内容・量、平時の管理・利用、避難所訓練の充実

項目6

- ・中長期の避難の考え方
- ・広域連携のあり方、長期避難滞在の具現化、2次・3次災害への回避方法

6つの項目に分類し、公開を原則に見える化をして、項目ごとに期限を決めて、たたき台を策定→議論→修正→最終確認→最終決定→そして、2026年令和8年の地区懇談会で発表とする。項目の最初のたたき台は2025年令和7年12月に報告します。

令和7年度津波避難計画、避難所運営マニュアル見直し 業務予定表



7月30日の行動を教訓として

- 7月30日のカムチャツカ半島沖地震に伴う津波警報の際には、これまで避難のルールが特段定められていなかった3m以下の予想津波高に対し、市民の皆様への行動パターンや市の情報発信方法に多くの課題があることがわかりました。
- このことを教訓として、具体的に効果のある避難行動となるよう今から1年間を費やし計画やマニュアルを改善してまいりますので皆様のご協力を何卒お願い申し上げます。